

美しい牛久周辺の里山を未来へ

特定非営利活動法人広く里山の会 事業のご案内





特定非営利活動法人うしく里山の会
事業のご案内

目次

全体事業	みどりの保全区エコアップ作戦	2ページ
自主事業	雑木林応援隊・畑隊	3ページ
	自然観察出前講座	4ページ
	親子農業体験講座	5ページ
	里山自然観察隊	6ページ
受託事業	牛久自然観察の森指定管理者	7ページ
	牛久市観光アヤマ園管理業務	8ページ
	チーム'街路樹20	9ページ
	森林総合研究所	10ページ
	もりの展示ルーム	
特別事業	巨木リサーチ2	11ページ
全体事業	公開里山セミナー	12ページ
	南部の自然を守る会	13ページ
	うしくの里山フォトコンテスト	14ページ



《用語解説》NPO法人うしく里山の会 会員細則より

全体事業：主に全ての会員を参加対象にした事業

自主事業：主に会員主体のプロジェクト活動

受託事業：自治体等から受託した事業

特別事業：理事会及び運営委員会において、受託事業、自主事業から
分けて管理することが妥当と判断された事業





アズマネザサと悪戦苦闘

美しい里山の再生に挑む

全体事業 みどりの保全区エコアップ作戦

《事業のねらい》

牛久自然観察の森に隣接する「牛久市結束町みどりの保全区」において、雑木林等の良好な里山生態系及び自然景観の再生を図る事を目的とし、地権者および結束町住民、所管である牛久市緑化推進課の協力のもと、市民参加による、下草刈りや除間伐、枝打ち等環境保全活動を実施する。

《活動概要》

活動日時：毎月第1金曜日 午前9時～11時30分(雨天時中止)

：毎月第3日曜日 午後1時～3時30分(雨天時中止)

：上記他、本会の秋祭り等で親子による体験会を実施

活動面積：平成19年度～20年度約2.5ha(終了)、21年度～約5ha(予定)

対象：会員、一般 共催：牛久自然観察の森



刈り払い機やチェーンソーは有資格者のみ使用



手入れ後の雑木林（後方は生き物のための茂み）



秋はスズメバチに注意しながら



子供たち参加の回も設定

※平成21年度事業では、茨城県森林湖沼環境税による補助(茨城県元気な森林づくり活動支援事業)を受けて、保全活動と普及活動を実施しました。



間伐の前の作戦会議



つる籠講座の作業風景



炭焼き講座の作業風景

楽しく自然保護活動を!

自主事業 雑木林応援隊・畑隊

《事業のねらい》

牛久自然観察の森「コジュケイの林」の整備、畑の利用、近隣の荒廃林の保全・整備を通して、下記を目的とする。

- 「保全・整備技術の習得」
- 「生物多様性の復活」
- 「公開講座開催」
- 「里山景観の維持」
- 「里山利用方法・技術の伝承」
- 「在来作物種の継続栽培」

《活動概要》

雑木林応援隊：毎月第2・4日曜日9時～15時（雨天時中止/畑隊も）

畑隊：毎週火曜日9時～正午（夏期）、13時～15時（冬期）

活動場所：牛久自然観察の森炭屋周辺、ムジナの里 対象：会員、一般



間伐作業



藍の生葉染めの藍葉摘み取り



ヘイケボタル
保全活動にて

自然に学ぶ老若男女

自主事業 自然かんさつ出前講座

《事業のねらい》

私達の日々の暮らしを支えている自然への興味関心を深め、その保全の大切さに気づいて頂くために、身近な自然を観察する機会を提供する。

《活動概要》

幼稚園、保育園、小学校、地域への自然体験活動講師の派遣
 平成18年度13回551名参加、平成19年度19回1305名参加
 平成20年度21回1546名参加、平成21年度21回1198名参加
 申込み窓口：電話029-874-6600(牛久自然観察の森内)



地域の小学生と共に



幼児からお年寄りまで



子ども達を自然の世界へ



幼稚園や保育園への出張要請は多い



↑じゃがいもの種芋を畝に沿って置いたところです。この後、土をかぶせていきます。まっすぐに並べたつもりでもなんだかクネクネしています。

→こちらはそばです。こちらも種まきから始まり、あっという間に収穫です。子供たちも自分で作業を行えるようになってきました。頼もしい限りです。

↓こちらはそば打ちです。子供だけでなく親も思うようにそばを打てず、四苦八苦していました。ですが、茹で上がったそばは格別の味がしました。自分たちで作ったものは、やはりおいしいですね。



親子で協力、農業体験

自主事業 親子農業体験講座

《事業のねらい》

普段触れる機会のない農業について、親子で協力しながら体験します。じゃがいもや里芋、さつまいもなどを播種から収穫まで体験します。子供たちはもちろん、親も泥んこになりながら、楽しく活動していきます。虫、小動物との遭遇はもちろん、様々な発見があります。収穫祭のとき、自分たちで育てたものを食べることがとても感動的です。

《活動概要》

活動日時：月1・2回土曜日 9時～正午（雨天時中止）

活動場所：牛久自然観察の森炭屋横畑 対象：会員、一般



活動初日のじゃがいも植え付け



左写真) 活動初日のじゃがいも植え付け時のものです。子供たちも一生懸命に作業を行っております。普段できそうでできない、土いじりを思いっきり楽しんでいました。(しかも親に怒られない)

←キャンプのごとく、炭で火を焚き煮ています。この3ヶ月無事育て、収穫できたじゃがいもをおいしく食しました。このときになって子供たちも普段何気なく食べているものがどのようにしてできているか、その苦勞をわずかでも知ってもらえたと思っています。



訪ねて知る 身近な自然 牛久の里山

自主事業 里山自然観察隊

《事業のねらい》

都市化が進み、緑が減少、野草や昆虫にも絶滅が心配される種が出てきている牛久市内において、①自然観察会等を通じ地域の身近な自然に親しみ郷土愛を育てるべく、②観察会や調査を通じ地域の貴重な動植物の所在を明らかにし、③展示発表などを通じ調査結果を市民に知らせる

《活動概要》

平成22年度には植物観察会を月1回実施、牛久の山林(里山)調査を毎月行なう。また過去に調査した草木のデータを整理しまとめる。

観察会：毎月第2土曜日 午前9時～12時30分(雨天時は次週に延期)

里山調査：観察会の後など随時行なう(～15時)

活動場所：市内の雑木林 対象：会員、一般



初夏の雑木林での観察



水田内の植物を観る



住宅街のスミレにも目を向けて



植物の説明を聴く



拠点施設：ネイチャーセンター（園内面積は約21ha）

牛久市初の指定管理者

受託事業 牛久自然観察の森指定管理者

《牛久自然観察の森概要と本会の関わり》

1990年4月1日開園。環境省(当時の環境庁)が補助事業として実施した「身近な自然活用地域整備事業」で整備された施設。都市周辺の身近な自然を対象にした施設で、里山をテーマに据える牛久自然観察の森は、横浜、仙台、福岡など全国10カ所の自然観察の森の中で最も入園者数が多い。中心施設のネイチャーセンターにはレンジャーが常駐し、年間300回の主催行事を行なうと共に、展示解説、園内の保全活動、動植物モニタリングなどを行なっている。本会は第1期：平成18年度～平成22年度の指定を受け、正職員5名、非常勤職員8名の合計13名の職員を配置している。



自然なんでも探検隊



森でランチ（読み聞かせ）



雑木林でたい肥づくり体験



秋の鳴く虫展



にぎわいのあるアヤメ園

アヤメ園を市民の手で

受託事業 牛久市観光アヤメ園管理業務

《事業のねらい》

牛久沼に面した貴重な水辺空間の自然生態系復活と、アヤメ園再生を目的とし、牛久市のワインビレッジ構想「水と緑のネットワーク」機転の環境整備を行う。(平成17年度より事業実施)

《活動概要》

作業日: 毎週月・木曜日(雨天時は状況に応じて判断)

時間: 午前8時～正午(2～12月)、但し夏季期間は1時間早め

場所: 牛久市観光アヤメ園(牛久市城中町) 対象: 会員

内容: 環境整備、里の植物園、学校団体対応、ヘイケボタル生息環境整備



満開を迎えて



総合学習への対応



圃場耕起も自分たちで



除草作業の様子



ロマン活動中（牛久市役所脇メタセコイア）

街路樹で、美しい街路景観と人の輪を創造する

受託事業 チーム'街路樹20

《事業のねらい》

市内街路樹の保護・育成を促進するためには、子供からお年寄りまで、樹木に対する理解を深めてもらうことが大切である。平成19年5月、街路樹に名札（樹名板）を取り付ける活動を牛久市に提案、同年7月～9月に市管理街路樹6,000本の樹木名、幹周計測を行ない調査データを製本提出。平成20年12月に樹名板委託契約を結ぶ。（平成20年度400枚、21年度130枚の取付）また、平成19年9月より、広報紙「広報うしく」に、「わが街の木」記事・写真提供、連載開始。

《活動概要》

活動日：樹名板管理活動は2ヶ月に1回第3火曜日8時30分～、交流会は毎月第4土曜日13時～
 知識向上の為の見学研修会は年間6回前後、広報うしく「わが街の木」寄稿は毎月実施
 ロマン活動は10月～12月（秋の街路樹剪定緩和モデル地区における落ち葉かき等）

活動場所：市内（但し、研修見学会は市外街路） 対象：会員、一般



樹名板



一泊研修会（富岡製糸場）



研修会（日本街路樹百景－松戸常盤平）



樹名板取付（出発前の様子）



もりの展示ルームの様子

夏休みの宿題はここで

受託事業 森林総合研究所 もりの展示ルーム

《事業実施場所》

独立行政法人 森林総合研究所(〒305-8687茨城県つくば市松の里1)
日本語トップページ <http://www.ffpri.affrc.go.jp/index-j.html>

《平成21年度事業実施概要》

実施日:平成21年7月17日(金)～8月31日(月)/内お盆休館4日間
公開時間:10:00～16:00(15:30受付終了)

業務内容:東南アジアの昆虫標本、動物の剥製、樹木標本等の展示解説
生物多様性パネル展示解説、つくばちびっ子博士会場対応等
※上記の他、森林総合研究所一般公開日(4月、2日間)にも対応実施



様々な標本、カブトムシの生体展示も



毎年展示内容を更新



解説員の業務は多岐に渡る



実験コーナーも開設



↑ 巨木の幹周測定（スタジイ）

← 巨木診断（幹に裂傷のあるスギの打音診断）

↓ 巨木管理（幹に巻きつくキツタの除去作業）



巨木を大切にし次世代へ引きつぐ活動

特別事業 巨木リサーチ事業フェーズ2

《事業のねらい》

巨木は地域住民の生活と深く結び付き、数百年風雪に耐えて生きてきた自然遺産で、文化遺産でもある。牛久市では平成3年に条例を制定し、代表的な巨木を「市民の木」に指定している。本事業は巨木・古木・希少木及びこれらの周辺植生を調べ、その結果を展示会や刊行物を通して市民へ広報し、市民の関心の醸成を図ることを目的とする。

《事業のあゆみ》…平成18年度～20年度はフェーズ1として実施、下記主な活動を掲載
 平成18年度 牛久市協働事業発足、「市民の木」37本調査、公開報告会実施
 平成19年度 神社仏閣内樹木調査実施（14回、68本調査）、公開報告会実施
 平成20年度 個人敷地内樹木調査実施（14回、57本調査）、公開報告会実施
 平成21年度 診断14本、管理10本、市民向け巨木ガイド実施（3回、104名参加）

《活動概要》

活動日：毎月第1日曜日及び第4土曜日（雨天時中止）
 活動時間：8時30分～12時30分（4～11月）、9時～12時30分（12月～3月）
 活動場所：牛久市内の巨木等生育場所他（研修見学先は市外）
 平成22年度活動内容：診断・管理・巨木ガイド及び研修見学会、報告会等
 対象：会員、一般 協働機関：牛久市役所緑化推進課



巨木「市民の木」No. 1ケヤキの根上がり
 樹高27m・幹周466cm明



巨木ガイド「市民の木No. 40」牛久市
 指定天然記念物得月院のカヤの説明



みんなでレベルアップ

全体事業 公開里山セミナー

《事業のねらい》

里山保全やNPO運営、環境問題に関わる第一人者を講師に招聘し、会員、市民の環境保全活動への参加意欲向上、スキルアップを図る。

《これまでの内容(抜粋)》

「つくば山麓での出会い作り」NPO法人つくば環境フォーラム代表 田中氏
 「これからの環境教育～持続可能な社会を目指して」立教大学教授 阿部氏
 「生き物と共存する公園づくり」横浜市南部公園緑地事務所 神保氏
 「農地と里山の保全その仕組みづくり」埼玉県川越農林振興センター 坂氏
 「さやま緑と里の会による平地林保全活動」さやま緑と里の会前会長中田氏



《セミナー会場》

牛久市三日月橋生涯学習センター
 牛久市エスカード生涯学習センター
 牛久自然観察の森レクチャー室

《関係団体》

牛久市農業政策課、緑化推進課
 H21年度茨城大学社会連携支援事業
 牛久自然観察の森



地域の大切な環境を、地元のみなさんと守り育てたい



水路の清掃

全体事業 南部の自然を守る会

本会は構成員として参画

《事業のねらい》

いま農業者の高齢化などにより、農地や周辺の自然環境を、農業者とともに地域を愛する関係者がみんなで守り育てて行くことが求められている。本事業では、牛久市内南部地域において、地域の共同活動組織「南部の自然を守る会」の構成員として参画し、住民主体の環境保全活動の支援を行なう。

《事業のあゆみ》

平成19年度 「南部の自然を守る会」設立、集落との共同作業
 平成20年度 パンフレット及びのぼり旗の作成(本会が主体)
 生き物調査、農道の草刈り、集落との共同作業実施
 平成21年度 集落との共同作業など実施



生き物調査



草刈り作業

《南部の自然を守る会について》

構成員：農業者、成井集落
 水土里ネット牛久南部
 (牛久南部土地改良区)
 牛久市土地改良区事務運営協議会
 特定非営利活動法人うしく里山の会



撮影：中島淑子（審査委員長賞受賞作品）

身近な牛久の魅力を再発見

全体事業 うしくの里山フォトコンテスト

《事業のねらい》

「自然と人が調和した美しい環境」とはどのような環境なのか。子ども達から大人まで、様々な世代の市民が未来に残したいと思っている里山のイメージ(写真、想い)をとりまとめ、市民とともに共有する事で、豊かな里山の環境作りに取り組むきっかけとする。

《活動概要》

テーマ：「あなたが未来に残したい身近な牛久の里山を教えてください」(平成21年度)

応募資格：①一般の部(高校生以上)、②子どもの部(小中学生)

募集区分：①雑木林、田、畑、集落等の里山景観やそこに暮らす生き物たち

②農林業の作業風景や地域に残る伝統行事等、里山とかかわる人々の暮らし

③市民による環境保全活動、環境教育活動などの様子

共催：牛久自然観察の森、牛久市観光協会 後援：牛久市、牛久市教育委員会

平成21年度応募数218点、入賞作品数36点



撮影：上條みどり（牛久市長賞受賞）



撮影：今泉涼子（牛久市観光協会会長賞受賞）



《入会のご案内》

「うしく里山の会」の活動の主旨に賛同し、入会を希望される方は、所定の手続きが必要となります。まずは、入会申請書一式をお取り寄せ下さい。これは牛久自然観察の森ネイチャーセンターにて受け取れます。郵送でもお取り寄せ出来ます(郵送料自己負担)。この中には、うしく里山の会の目的などを示した「定款」や「細則」が同封されています。これらを良くお読みになり、ご理解頂いた上、「入会申込書」にご記入していただき、会事務局まで同封の封筒でお送り下さい。事務局で「入会申込書」に記入された内容を確認させていただき、面談のご案内をお電話にて差し上げます。事務局会員管理担当による面談を経て、入会が決まった場合、所定の入会金・年会費をお振り込みください(振込料自己負担)。お振込が確認された後、事務局にてボランティア活動保険への登録を行い、会員証を発行いたします。ご不明な点や、質問、分からない事などございましたら、下記までご連絡ください。

入会費：下記の会員種別、一般子供にかかわらず1名につき 500円

年会費①正会員 個人会員 一般：3,500円/年、子供(中学生以下)：1,000円/年

家族会員 個人会員と同居、または生計を一つにする家族

1名につき 一般：2,000円/年、子供(中学生以下)：500円/年

②賛助会員 企業・団体：一口5,000円(一口以上) 個人：一口500円(一口以上)

(賛助会員の皆様は本会のホームページで紹介させていただきます/紹介無し可)

《寄附の募集について》(ご寄附頂いた皆様は本会のホームページで紹介させていただきます/紹介無し可)

- 1.名称：うしく里山フクロウ寄附金(通称：フクロウ寄金)
- 2.趣旨：特定非営利活動法人うしく里山の会の使命を促進するために、会の財政基盤を安定化させ、運営強化を図ることを目的として、事業に関心を寄せ、その促進に高い志をもつ個人や組織より寄附を受けることを趣旨とします。
- 3.対象：里山保全活動の普及振興につとめる本会の使命に賛同し、支援をいただける個人及び組織・機関。(法人形態は問いません)
- 4.寄附金額：一口五千元(一時払い、上限なし)。一口以上。
- 5.寄附の用途：寄附金収入として計上させていただき、各年度の事業計画及び収支予算にそって、本会の安定的運営の資金に充てます。
- 6.寄附の申し込み・確認方法：別紙(本会HPからもダウンロード可)の寄附金申込書に必要事項を記入し、事務局にファックスで送付して下さい。ご入金確認の後、領収証を発行してお届け致します。また、寄附をいただいてから1年間、毎月1回、会報誌を進呈いたします。
- 7.受入れの拒否又は寄附金の返還について：次のような寄附金については、その受入れを拒否したり、受け取った寄附金を返還いたします。
①寄付金の受入れが公序良俗に反するおそれのあるもの ②政治性又は宗教性があるもの
③キャンブルに関するもの ④風俗営業及び類似の業種 ⑤その他、理事会が特に認める場合
- 8.問い合わせ先：特定非営利活動法人うしく里山の会事務局 寄附金係
〒300-1212 茨城県牛久市結束町489-1 牛久自然観察の森ネイチャーセンター内
Tel:029-874-6600(呼出) Fax:029-874-6812(寄附金申込書送付先)

特定非営利活動法人うしく里山の会

代表：視察受入窓口 〒300-1236 茨城県牛久市田宮町808-20 TEL&FAX 029-873-8552

事務局：(会&寄附窓11) 〒300-1212 茨城県牛久市結束町489-1 牛久自然観察の森内 TEL 029-874-6600 FAX 029-874-6812

ホームページ：<http://u-satoyama.web.infoseek.co.jp/> 「うしく里山の会」でご検索下さい